

食料安全保障及び栄養の ためのニュー・アライアンス

New Alliance
for Food Security and Nutrition

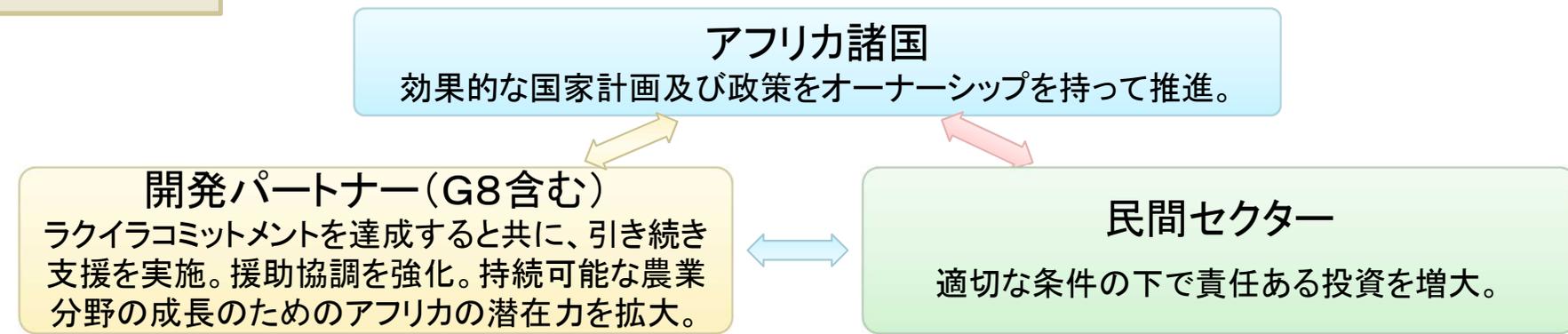
2014年6月

外務省国際協力局

アフリカの食料安全保障改善のための新たな取組み 「食料安全保障及び栄養のためのニュー・アライアンス」の立ち上げ (2012年G8キャンプ・デービッド・サミット)

目標 G8を含む開発パートナー、アフリカ諸国、民間セクターのパートナーシップにより、持続可能で包摂的な農業成長を達成し、10年間で5000万人を貧困から脱却させる。

アプローチ 共有する目標の達成に向けたパートナーシップの下、3者が以下にコミット。



リーダーシップ理事会 ニュー・アライアンスの進捗の確認と今後の方向性を議論し、ニュー・アライアンスを主導する組織として「リーダーシップ理事会」を設立。年2回程度開催。

具体的取組

1. 民間投資の増大に向けた分野別取組 (Enabling Actions)

アフリカ全体が対象。4分野16取組。

- ①市場と資金供給
- ②技術・イノベーション
- ③リスク管理
- ④栄養の改善

2. 国別協力枠組み(Country Cooperation Framework)の策定

開発パートナーの資金コミットメント、パートナー国政府の具体的な政策行動、民間セクターの投資意図表明を含む「協力枠組み」の策定。

- | | |
|------------|----------|
| ➤ エチオピア | ➤ ベナン |
| ➤ ガーナ | ➤ マラウイ |
| ➤ タンザニア | ➤ ナイジェリア |
| ➤ ブルキナファソ | ➤ セネガル |
| ➤ コートジボワール | |
| ➤ モザンビーク | |

※パートナー国は今後随時拡大予定



分野別取組(Enabling Actions)

1. 市場と資金供給(Market and Finance): 資金調達の支援

- (1) アフリカ開発銀行の「農業インフラファストラック」等による案件準備・資金調達支援
- (2) 「世界農業食料安全保障プログラム(GAFSP)」に今後3年間で12億ドルを支援
- (3) 民間投資を促進するための開発金融機関(DFIs)における進捗を報告
- (4) 農業ビジネス指標を作成

2. 技術・イノベーション(Technology and Innovation): 技術・イノベーションの拡大支援

- (1) パートナー国における農業関連技術の採用・普及に関する10年間の目標設定
- (2) 技術普及を加速化するための「技術プラットフォーム」を構築
- (3) 種子関連技術等を普及させるため「種子及び他の技術を拡大するパートナーシップ」を構築
- (4) 農業関連データを収集・共有するための「農業オープンデータ国際会議」を開催
- (5) 情報通信技術(ICT)の活用を推進する「ICTイノベーション・チャレンジ」を構築

3. リスク管理(Risk Management): 農業リスクの軽減及び管理

- (1) 国別の農業リスク評価戦略の作成を支援
- (2) 農業指標保険の利用可能性・普及支援をするための国際行動ネットワークを構築
- (3) African Risk Capacity創設に向けた取組と公的なリスク管理の必要性を認識

4. 栄養の改善(Nutrition): 栄養の向上と子供の発育障害の軽減

- (1) 栄養スケールアップ(SUN)運動を支援し、1000日間の栄養改善のコミットを歓迎
- (2) 栄養に関する分野横断的な活動の調整を推進
- (3) 食料の栄養価の改善のための関連技術の利用・開発促進
- (4) 栄養不足リスクを低減するための取組を支援

国別協力枠組み (Country Cooperation Framework)

パートナー国において、国別の取組を加速化させるため、「包括的アフリカ農業開発プログラム (CAADP) に基づき策定される国家投資計画と統合的な国別協力枠組み」を策定。

1. パートナー国 (国別協力枠組み策定済み)

2012年5月	G8サミット	→ エチオピア、ガーナ、タンザニア
9月	国連総会	→ モザンビーク、ブルキナファソ、コートジボワール
2013年6月	G8サミット	→ ベナン、マラウイ、ナイジェリア
10月以降		→ セネガル

今後、パートナー国を随時拡大していくことを想定

2. 国別協力枠組みの策定プロセス

(1) リード国の選定 例) モザンビーク (日、米が連携)、ブルキナファソ (仏)、コートジボワール (EU)

(2) ラウンドテーブルの開催

民間投資増大に向けた多様な関係者の意見集約のため、現地でラウンドテーブルを開催

(3) アフリカ政府のコミットメント

CAADP 及び 国家投資計画と統合的な政策マトリックスや実施計画の作成を支援

(4) 開発パートナーのコミットメント

パートナー国政府の取組を支援するための資金コミットメントの表明

(5) 民間セクターのコミットメント

民間企業による投資意図表明 (Letters of Intent) の提出

3. 立ち上げ会合の開催 国別協力枠組みの着実な実施のための立ち上げ会合を開催

実施に係る組織構造の決定、実施ロードマップの策定、評価指標の設定等について協議

国別協力枠組み:各パートナー国の取組

1. エチオピア (リード国:米国)

2012年9月12日に立ち上げ会合を実施。

パートナー国政府のコミットメントの内容:新たな種子政策の国会承認、土地への安全なアクセスのための国内及び海外の農業投資家支援のための統一窓口の設置、農村部の土地所有者に対する土地認証制度の普及等。
我が国のコミットメント額:70.01億円(0.88億ドル)

2. ガーナ (リード国:米国)

2012年8月28日に立ち上げ会合を実施。

パートナー国政府のコミットメントの内容:新種子法施行に係る規則の策定、投資家のための土地データベースの設立、新ガーナ農業生産調査の立ち上げ、食料・農業省収穫後管理委員会への民間セクター代表者の指名等。
我が国のコミットメント額:26.69億円(0.34億ドル)

3. タンザニア (リード国:米国)

2012年9月6-7日に立ち上げ会合を実施。

パートナー国政府のコミットメントの内容:輸出禁止の代替政策の実施、穀物税の減免、農機具のスペアパーツへの付加価値税の減免、小農・投資家の土地利用権の認証制度の確立、国内・域内の種子政策の策定及び実施等。
我が国のコミットメント額:141.36億円(1.78億ドル)

4. ブルキナファソ (リード国:フランス)

2013年2月15日に立ち上げ会合を実施。

パートナー国政府のコミットメントの内容:生産材(種子・肥料等)への脆弱層のアクセス強化、農業リスクに対するサービス開発、灌漑整備及び持続可能な水資源管理、民間投資に対する投資環境整備、土地へのアクセス推進等。
我が国のコミットメント額:3900万円(50万ドル)

5. コートジボワール (リード国:EU)

2012年11月26日に立ち上げ会合を実施。

パートナー国政府のコミットメントの内容:土地所有権の確保及び土地へのアクセス推進、農畜水産物及び農業生産材の生産・加工・開発・流通における民間投資環境整備、栄養の改善等。
我が国のコミットメント額:無(記載なし)

6. モザンビーク (リード国:日本・米国)

2013年4月10-11日に立ち上げ会合を実施。

パートナー国政府のコミットメントの内容:生産材(種子・肥料)に係る政策・規制の策定、小農の土地所有権確保・農業ビジネス投資促進のための土地利用権制度改革、貿易自由化促進、信用保証へのアクセス強化、栄養改善等。
我が国のコミットメント額:94.1億円(1.18億ドル)

7. ベナン (リード国:ドイツ)

立ち上げ会合は未実施。

パートナー国政府のコミットメントの内容:環境に配慮した民間投資及び農業起業家の奨励、市場へのアクセス促進、アクセスしやすい資金整備、土地へのアクセス及び利用の促進・保護、女性の経済的能力強化、栄養改善等。
我が国のコミットメント額:1.81億円(200万ドル)

8. マラウイ (リード国:EU)

立ち上げ会合は未実施。

パートナー国政府のコミットメントの内容:民間投資ビジネスのリスクの削減、土地、水、生産材、基本的インフラへのアクセスの改善、農業改良普及サービスの再構築、栄養価の高い食品の生産及び活用による栄養不良の改善等。
我が国のコミットメント額:9.75億円(1060万ドル)

9. ナイジェリア (リード国:英国)

立ち上げ会合は未実施。

パートナー国政府のコミットメントの内容:種子・肥料の生産及び流通における民間企業の参画拡大、農民・取引業者・ビジネス関係者の民間金融サービスへのアクセス拡大、栄養改善、民間投資増強の為のビジネス環境整備等。
我が国のコミットメント額:3.69億円(400万ドル)

10. セネガル (リード国:カナダ)

2013年11月12日に立ち上げ会合を実施。

パートナー国政府のコミットメントの内容:農業融資、農業補助金予算削減、農業投資への課税優遇措置、土地改革措置の法律制定、農業近代化政策、種子政策、栄養改善等。
我が国のコミットメント額:16.47億円(1782万ドル)

日本の貢献

1. モザンビーク国別枠組みにおける貢献

我が国はモザンビークの国別協力枠組み策定の共同リード国として、モザンビーク政府及び共同リード国の米国と緊密に連携して国別協力枠組み作成に貢献。

(1)モザンビークにおける日本政府の協力

- 日本政府はモザンビークにおいて、従来よりODAを通じて農業開発を積極的に推進。農業開発を進めるにあたり、民間企業との連携を特に重視。



- 日本政府はモザンビークの国別協力枠組みを主導し、モザンビーク農業分野における官民両方での協力を行っていく考え。

(2)モザンビーク国別協力枠組みへの日本企業の参画

- 日本企業4社がモザンビークにおける農業投資・ビジネスに関心を表明し、国別協力枠組みに参画。

2. その他の貢献

国別協力枠組みにおいて、「責任ある農業投資原則」を考慮することが言及され、我が国は、農業投資が責任ある形で行われることが重要との認識のもと、「責任ある農業投資に関する未来志向の調査研究」の実施を支援。

主要関連日程

2012年 5月18日	G8サミット・サイドイベント	キャンプ・デービッド、米国
8月28日	ガーナ協力枠組み立ち上げ会合	アクラ、ガーナ
9月6-7日	タンザニア協力枠組み立ち上げ会合	ダルエスサラーム、タンザニア
9月12日	エチオピア協力枠組み立ち上げ会合	アディスアベバ、エチオピア
9月24日	第1回リーダーシップ理事会(国連総会)	ニューヨーク、米国
9月26日	国連総会・サイドイベント	ニューヨーク、米国
11月26日	コートジボワール協力枠組み立ち上げ会合	アビジャン、コートジボワール
2013年 2月15日	ブルキナファソ協力枠組み立ち上げ会合	ワガドゥグ、ブルキナファソ
4月10-11日	モザンビーク協力枠組み立ち上げ会合	マプト、モザンビーク
5月9日	第2回リーダーシップ理事会	ケープタウン、南アフリカ
6月1-3日	TICAD V	横浜
6月8日	G8サミット関連イベント「成長のための栄養」 (ニュー・アライアンス／栄養)	ロンドン、英国
6月17-18日	G8ロック・アーン・サミット	北アイルランド、英国
9月23日	第3回リーダーシップ理事会(国連総会)	ニューヨーク、米国
2014年 5月7日	第4回リーダーシップ理事会	アブジャ、ナイジェリア